



発行 今井町並み保存会
 発行日 令和5年1月1日
 電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
 ◇ご意見・ご感想は
 今井景観支援センターまで

新年ご挨拶

中西 知

明けましておめでとうございます。
 旧年中は当保存会の活動に物心両面からご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。
 新しい年が皆様にとりまして昨年にも増して健やかで明るい年になるようお祈り申し上げます。

さて、令和2年3月から始まったコロナ禍が満3年を迎えようとしています。この3年間で私達の日常生活は一変し、「ウィズコロナ」生活が定着しています。経済活動も概ね復調の兆しが見えていますが、円安やエネルギー高の影響もあって、コロナ以前の経済状況に戻ることはないと思う。多くの経済人が実感しています。

そのような状況の中で、当保存会も昨年はコロナ感染状況を勘案しつつ、5月今井町並み散歩(茶行列の衣装展示)、8月灯火会、10月はならあと2022櫃原今井サテライト会場等のイベントを開催するこ

とができました。しかし遡れば、令和2年(2020年)に開催を企画していた、今井宗久生誕500年祭は実施できませんでした。今年は、今井町が文化庁により重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから30周年の節目の年になります。当保存会は、重伝建選定以前から活動を続け、様々な実績を積み上げてきました。

現在、コロナ第8波到来の様相を呈していますが、重症化率・致死率はインフルエンザ以下と伝えられています。コロナについては、今後どのような変異が発生するか?終息するのか?全くわかりませんが、当保存会としては今井町並み散歩を筆頭に従来の形式にはこだわらず、中止よりもどのようなすればできるか前向きな姿勢で各事業推進に取り組みたいと思います。皆様には一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

好天の中、稱念寺 落慶法要 開催



12年の歳月をかけて今春見事に復元修理が完了した稱念寺(今井慶子住職)において、落慶法要に関する一連の行事が開催されました。

晩秋のすばらしい好天に恵まれて11月



27日(日)10時から本堂内陣前で石州流茶道宗家による献茶式が厳粛な雰囲気なかで催されました。11時から稚児行列がお寺の正門前から重文今西家をぐるりと一回りしました。13時半から重要文化財稱念寺本堂 平成・令和大修復慶讃法要、親鸞聖人ご誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年慶讃法要、稱念寺第十五世住職継職奉告法要が営まりました。午後からは、イリーナメジューエワさんのピアノコンサートが行われました。



つづいて、11月28日(月)は、13時半から宗祖親鸞聖人報恩講法要の後、観世流の奉納能「羽衣」、更にタケカワユキヒデ氏のコンサートが行われました。

今井町の商い⑧

若林 稔

今回は中町筋を書いていきます。

中蘇武通りから前回の吉本ミシン店⑩の三つ角を北に進み、一つ目の角が森本のお茶屋さん①を過ぎるとそのまま北に荒木乾物店②と川本うどん店③で、西側に吉川のタバコ屋さん④があり、その北角はあて曲げになっていて、北西の角は藤田のキャンディ屋さん⑤、途中からパーマ屋さんに変ったな。

ここからが中町筋で、北並びに鶴田のお茶とお花の先生のお宅⑥、旧米谷家の西隣は細い路地を挟んで細田丹陽堂さん⑦、大阪で岩おこしの会社を経営されていた。

学校通りと交差する角は西岡のマッサージ屋さん⑧と道向かいには勝井の時計屋さん⑨で南向かいは西藪の鍛冶屋さん⑩。

西に続いて南側長屋の並びは柴田駄菓子屋さん⑪と当麻の建具屋さん⑫、新口の駄菓子屋さん⑬が続いていた。

辻を西にまたぐと、南角は杉本のうどん屋さん⑭で、少しの間だが後藤のお好み屋さん⑮と河合のお茶屋さん⑯が並んでいた時期があった。次は熊源⑰で野菜果物や乾物が広い店頭で並んでいた。

北側の並びは東から池田写真館⑱と野間さんの丸一呉服店⑲(後ほど貸本屋さん)、平井のカップ屋さん⑳と続く。

平井さんは文房具や小間物がたくさん

並んでいたが、特に紙類が豊富で、油紙などの特殊な紙も扱っておられたのが印象深い。

道を西にまたいだ角から北2軒目は澤井マッサージ⑲、中町筋に戻って大衆浴場朝日湯⑳の向かいに落合の大工さん㉑、そして西角が森本化粧品店㉒で、向かいには朝日湯から大橋米穀店㉓、澤井のうどん店㉔と続き、お菓子も氷菓子もあつて風呂上がりの楽しみのお店だった。

辻を西にまたいだ南角は西岡畳店㉕、その隣が大橋のうどん屋さん㉖、北側は真ん中あたりに油谷の柴屋さん㉗があつて、薪や杉皮、おが屑を大八車で積み下ろしされていた。

西の辻のお地藏さんがあつる北角は池島青果店㉘で、続いて西田のパーマ屋さん㉙、結城の桶屋さん㉚、川口結納屋さん㉛と続き、結城の桶屋さん㉜は南向かいに竹材料や商品置き場の倉庫があつて、冬の寒い朝は玄関先で竹の廃材を燃や



して焚火をされていたのでよく温まりに行つたものだ。

桶屋の物置場の並びは、西へ毎日便の配達屋さんが続いて、中西さんというお家で、しばらくの間、下市から歯医者さんが来て開業されていた。

その西側は井上の染物屋さん㉝で、こちらの井戸は水が冷たくてきれいなので、夏にはご近所からよく水をもらいに来られたそう。

これより西端の環濠までは住居が続く。

ボランティアスタッフ募集

当保存会では、檀原市から景観支援センター(中町)、今井まちや館(本町)、重文旧米谷家(中町)の委託管理を請負っています。この度これら三施設でボランティアスタッフとして施設の運営や施設の案内をしていただく方を募集します。

つきましては、応募していただく方に対して左記の通り業務の内容や勤務条件の説明会を兼ねて研修会を催しますので奮って申し込み下さい。

1月22日(日) 研修会場

(華葦・まちや館・稱念寺)

1月29日(日) 研修会場

(華葦・重文旧米谷家・重文音村家)

申し込み先

保存会事務所 0744 22 1128

中西 知 携帯 090 3276 2635